

授業科目	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 母性看護学		
授業担当者	開講時期	単位	時間数
中川 郁子 (専任教員)	中期～後期	1 単位	30 時間
<b>授業の目的</b> 褥婦・新生児の特徴を理解し、新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識と技術について理解する。			
<b>授業の目標</b> 1. 産褥期の身体的・心理社会的変化の理解および必要な看護がわかる。 2. 新生児の特徴と生理的变化の理解および必要な看護がわかる。 3. 異常をもつ褥婦・新生児の看護がわかる。			
<b>授業概要</b> シミュレーション課題に取り組み、褥婦の退行性・進行性変化、精神・社会的側面の理解と必要な看護およびセルフケアについて学習する。また、新生児が胎外生活へ適応していく過程を理解し、生理的变化や適応に向けた援助について学習する。さらに、異常をもつ褥婦・新生児の理解およびその看護について学習する。協同学習を取り入れ授業を進行するため、主体的に参加してほしい。 母性看護を実践するために必要な技術（看護過程の展開方法、保健指導技術、沐浴、新生児の諸計測など）の演習によって、根拠に基づいた援助技術を身につける。			
<b>授業計画（進め方）</b> 1 回目 産褥経過と看護 2 回目 産褥経過と心理 3 回目 産褥期の日常生活と看護 4 回目 産褥期の看護技術 5 回目 ハイリスク状態にある褥婦の看護 6 回目 帝王切開術後の看護 7 回目 出生直後の看護 8 回目 早期新生児期にある新生児の看護 9 回目 ハイリスク状態にある新生児の看護 10・11 回目 沐浴，新生児身体計測，新生児バイタルサイン測定，育児体験（演習） 12・13 回目 看護過程演習 14 回目 看護過程交流会 15 回目 保健指導ロールプレイ			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 立岡弓子編著 新訂版 周産期ケアマニュアル 第2版 サイオ出版			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験及び課題の提出およびルーブリックに基づき看護過程で6割以上を単位修得とする。			